

第6期 第8回 苫小牧市中小企業振興審議会 要旨

1 日 時 令和7年2月5日(水) 13:30~14:35

2 場 所 苫小牧市役所9階 91・92会議室

3 出 席

(1) 苫小牧市中小企業振興審議会委員

奥村委員、木村委員、小玉委員、坂上委員、定蛇委員、高橋明利委員、
高橋憲司委員、玉川委員、西村委員、藤本委員、若狭委員
(※欠席者：五十嵐委員、黒井委員、長澤委員、森川委員)

(2) 事務局(市)

産業経済部 : 小名部長

産業振興室 : 白川室長

企業政策室 : 木澤室長

商業振興課 : 長谷川課長、高橋主査、山岸主査

工業・雇用振興課 : 鳥羽課長、田中主査、今井主査、吉田主査

4 概 要

(1) 開会

苫小牧市中小企業振興審議会開会(委員15名中11名出席、苫小牧市中小企業審議会規則第4条第2項の規程による審議会開催の定足数を満たしている)

(2) 報告

①前回の意見交換会の結果について

高橋副会長より資料2を基に説明。

… 意見・質問等なし。

(3) 議事

①創業及び事業承継の推進に関するアウトプットについて

事務局より資料3を基に説明。

○小玉委員

次期審議会への引継ぎ事項として、審議会とは別の枠組みでの議論の深掘りを検討していただくことや、ワンストップサービスのためにもDXやAIの活用についての検討を盛り込んではいかがでしょうか。

○事務局

議事②の第6期報告書のなかで、審議会や意見交換会の在り方について必要に応じて見直すことを記載しており、検討していきたい。

DXなど新しい課題についても、審議会や意見交換会のなかで検討できると考えている。

②第6期苫小牧市中小企業振興審議会報告書(案)について

○小玉委員

自治体DXの取組み等とどのように合わせていくのか市には考えてほしい。ワンストップサービスを進める上で、AIを使うことで前さばきを行い、必要な情

報を得ることが可能な段階になった。サポートブックの活用にもつながる。そのような取り組みをお願いしたい。

○事務局

人材不足の解消や業務効率化のためにもDXやAI、ICTの活用が市役所でも必要となってきたおり、サポートブックについても、どのような形で可能なのか調べ、審議会からの意見も伺っていききたい。

○高橋会長

AI等は、サポートブックを広める活動について使い道があるということで、記述があっても良いかもしれない。

○奥村委員

今後はAIや外国人材の活用が中小企業の発展要素になると考える。北洋大学には約250名の留学生がいるが、札幌市に行かないと苫小牧市には仕事がないと判断している場合も多い。AIと外国人材の上手な運用の仕方ということを組み込んでいただければ。

○高橋会長

非常に大事なことなので、何らかの形で引継ぎをしていきたい。

③令和7年度版苫小牧市中小企業者サポートブックの公表について

… 意見・質問等なし。

(4) その他

- ・本審議会出席の各委員より挨拶。
- ・産業経済部小名部長より挨拶。
- ・事務局より2/12(水)に開催される「外国人材採用勉強会」について紹介。

(5) 閉会